

令和5年第1回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月28日午後1時50分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

出産・子育て応援給付金支給事業について、本事業では給付金の支給にあたり面談を行うことが重要な要素であると思うが、全ての対象者が確実に面談を行うことができるのか。また、面談を実施するにあたり市職員だけで十分に対応ができる体制となっているか。とに対し、

面談は、母子健康手帳の交付時に行うため、確実に実施することができます。そのほか、「こんにちは赤ちゃん訪問」など他の事業も活用しながら面談の機会を設けます。面談を実施する体制については、保健師や家庭児童相談員をはじめ、主任児童委員など地域の方にも協力をいただきながら対応します。とのこと。

同事業について、本給付金の支給要件はどのようなか。また、外国籍市民も受給可能か。とに対し、

支給要件は、申請時点で市内にお住まいで、他の自治体で既に給付を受けていないことが条件であり、外国籍市民も受給可能です。とのこと

がん検診等推進事業について、この度補正予算を計上することとなった経緯はなにか。とに対し、

がん検診を一部無料化したことにより、今年度の受診者が当初の想定を超えて増加したため、補正予算にて対応したいとするものです。とのこと。

図書館資料整備事業について、寄付金を財源に図書を購入することだが、どのような図書を購入する予定か。また、今年は新美南吉生誕 110 年であるため、新美南吉に関連する図書を購入する考えはあるか。とに対し、

寄付者の意向が「児童書の購入」であったため、児童書を中心に購入を考えています。また、金融関係の企業からご寄付をいただいているため、金融関係の児童用書籍も購入する予定です。新美南吉に関連する書籍については、可能な範囲で購入を検討してまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 5 号及び議案第 6 号の 2 議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2 議案とも委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。